

目 次

I 教育研究組織

- 1 (表1) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2009年5月1日現在) 1
- 2 (表2) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2010年4月1日現在) 2

II 教育内容・方法等

- 1 (表3) 開設授業科目における専兼比率 3
- 2 (表4) 単位互換協定に基づく単位認定の状況 4
- 3 (表5) 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況 5
- 4 (表6) 卒業判定 6
- 5 (表7) 大学院における学位授与状況 7
- 6 (表8) 就職・大学院進学状況 8
- 8 (表10) 公開講座の開設状況 9
- 9 (表11) 学生の国別国際交流 10
- 10 (表12) 教員・研究者の国際学術研究交流 11

III 学生の受け入れ

- 1 (表13) 学部・学科の志願者・合格者・入学者の推移 12
- 2 (表14) 学部・学科の学生定員及び在籍学生数 13
- 3 (表15) 学部の入学者の構成 14
- 4 (表17) 学部・学科の退学者数 15
- 5 (表18) 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数 16
- 7 (表18-3) 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移 17

IV 教員組織

- 1-1 (表19) 全学の教員組織 18
- 1-2 (表19-2) 学部の教員組織 19
- 1-3 (表19-3) 大学院研究科の教員組織 (専門職大学院を除く) 20
- 1-5 (表19-5) 事務組織 21
- 2 (表20) 専任教員個別表 23
- 3 (表21) 専任教員年齢構成 37

V	研究環境	
3	(表29) 専任教員の研究費 (実績)	38
4	(表30) 専任教員の研究旅費	39
6	(表32) 教員研究費内訳	40
7	(表33) 科学研究費の採択状況	41
8	(表34) 学外からの研究費	42
VI	施設・設備等	
5	(表40) 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表	43
VII	図書・電子媒体	
1	(表41) 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況	44
2	(表42) 図書館利用状況	45
3	(表43) 学生閲覧室等	46
VIII	学生生活	
1	(表44) 奨学金給付・貸与状況	47
2	(表45) 学生相談室利用状況	48
IX	財務 (私立大学のみ)	
1-1	(表46) 消費収支計算書関係比率 (法人全体のもの)	49
1-2	(表46-2) 消費収支計算書関係比率 (大学単独のもの)	50
2	(表47) 貸借対照表関係比率	51
X	情報公開・説明責任	
1	(表48) 財政公開状況 (私立大学のみ)	52

I 教育研究組織

1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2010年5月1日現在）

（表1）

名 称	開設年月日	所 在 地	備 考
人間文化学部 人間文化学科	2002(平成14)年4月1日	山梨県甲府市横根町888番地	
大学院人間文化研究科 臨床心理学専攻 修士課程	2004(平成16)年4月1日	山梨県甲府市横根町888番地	
教職課程	2002(平成14)年4月1日	山梨県甲府市横根町888番地	

[注] 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、研究所等ごとに記載してください。

2 当該学部、研究科の開設が届出による場合は、備考欄にその旨記載してください。

3 当該研究科もしくは専攻が専門職大学院である場合は、備考欄にその旨記載してください。

4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、学部にならない記載してください。

5 通信教育課程、専攻科、別科等があれば、これも記載してください。

2 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2011年4月1日現在）

(表2)

学部、大学院研究科等	学科、専攻の名称	収容定員(名)	所在地	備考
人間文化学部	人間文化学科	1,040	山梨県甲府市横根町888番地	
人間文化研究科	臨床心理学専攻	24	山梨県甲府市横根町888番地	修士課程のみ
		1,064		

- [注] 1 申請年（2011年）4月1日付で設置している学部・学科、研究科・専攻を記入してください（募集停止しているものを含まず）。
- 2 通信教育課程があれば、これも記載してください。
- 3 申請年度（2011年度）から学生受け入れを開始、名称を変更した学部・学科、研究科・専攻名は、備考欄にその旨を付記してください。
- 4 学生募集を停止している学部・学科、研究科・専攻名には、備考欄にその旨を付記してください。
- 5 専門職大学院は、該当する研究科・専攻名に、（専門職）と付記してください。
- 6 申請年4月時に完成年度に達していない学部・学科、研究科・専攻には（※1）を、申請資格充足年度（完成年度+1年）を経ている学部・学科、研究科・専攻には（※2）を付記し、備考欄に学生受入れ年月を記入してください。
- 7 収容定員は、入学定員を変更している場合、編入学を実施している場合、完成年度に達していない場合、学生募集を停止している場合など、「現在の入学定員×標準修業年限」では算出できませんので注意してください。
- 8 現在、文部科学省に設置申請中の学部・学科、大学院研究科・専攻・課程（修士・博士）がある場合は、記載してください。

II 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率

(表3)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
人間文化学部	人間文化学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	30	0	185
			兼任担当科目数 (B)	0	0	92
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100	0	66.8
		教養教育	専任担当科目数 (A)	43	8	55
			兼任担当科目数 (B)	13	24	52
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	76.8	25	51.4

[注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。

2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼任科目も含めてください。

3 カリキュラムを改定した場合は、改定前・後、それぞれ分けて作表してください。

4 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。

5 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。

6 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。

7 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。

①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。

②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。

8 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください。
(例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります)。

2 単位互換協定に基づく単位認定の状況

(表4)

学 部 ・ 学 科		認定者数 (A)	他大学		短期大学		1人当たり 平均認定 単位数 (B+C) / A
			認定単位総数 (B)		認定単位総数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
人間文化学部	人間文化学科	4	14	0	0	0	3.5
計		4	14	0	0	0	3.5
合 計		4	14	0	0	0	3.5

[注] 1 他大学または短期大学との単位互換協定に基づき単位認定を行っているものを記載してください。

2 2009年度の実績を記入してください。

3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況

(表5)

学 部 ・ 学 科		認定者数 (A)	大学・短大・高専等		その他		1人当たり平均 認定単位数 (B+C) / A
			認定単位数 (B)		認定単位数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
人間文化学部	人間文化学科	1	0	0	0	2	2
計		1	0	0	0	2	2
合 計		1	0	0	0	2	2

- [注] 1 原則として、大学設置基準第29条及び第30条で規定された「大学以外の教育施設等における学修」と「入学前の既修得単位等の認定」に該当するものを記載してください。
ただし、上記には該当しないものの、単位互換協定以外で学生が国内外の大学において履修した授業科目の単位を自大学の単位として認定している場合は、本表の「大学・短大・高専等」欄に含めてください。
- 2 「大学・短大・高専等」欄には、大学、短期大学または高等専門学校の特攻科における学修を、「その他」欄には、「大学設置基準第29条第1項の規定により、大学が単位を与えることのできる学修を定める件」（平成19年文部科学省告示第146号）に定められた学修を記載してください。
- 3 2009年度の実績を記入してください。
- 4 編入学生については、本表に含めないでください。

4 卒業判定

(表 6)

学部・学科		2009年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
人間文化学部	人間文化学科	274	226	82.5
計		274	226	82.5

[注] 「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学部の最終学年に在籍する学生を指します。

5 大学院における学位授与状況

(表7)

研究科・専攻			2009年度		備考
			修了予定者数	学位授与者数	
人間文化研究科	臨床心理学専攻	修士 博士(前期)	16	12	
計			16	12	

[注] 1 「修了予定者」欄には、留年者も含め、当該年度修了予定の在籍学生数を記入してください。

2 当該研究科もしくは専攻、課程が最近開設され、そのために学位授与該当者がいない場合は、備考欄にその開設年月日を記載してください。

6 就職・大学院進学状況

(表8)

学 部	進 路		2009年度
人間文化学部	就職	民間企業	97
		官公庁	2
		教員	1
		上記以外	0
	進学	自大学院	9
		他大学院	12
		上記以外	24
	そ の 他		81
	合 計		226

[注] 1 「その他」欄には、当該学部の各年度の卒業者のうち、就職、進学のいずれにも該当しないもののすべての数を記入してください。

2 専門学校教員、日本語教師、NGO団体、国際機関等への就職については、「就職（上記以外）」の欄に記入してください。

3 専門学校への進学は、「進学（上記以外）」欄に記入してください。

8 公開講座の開設状況

(表10)

大学 研 究 学 部 科	年間開設講座数 (A)	募集人員 (延べ数)	参加者 (延べ数) (B)	1 講座当たりの 平均受講者数 B/A	備 考
	2009年度	2009年度	2009年度	2009年度	
人間文化学部	51	755	730	14.0	
計	51	755	730	14.0	

- [注] 1 ここでの公開講座とは、大学が社会人などを対象に開講する授業や、授業に匹敵する内容の講座です。
 2 シンポジウム、講演会は含めないでください。

9 学生の国別国際交流

(表11)

国名 学部・研究科	中華人民共和国		大韓民国		スリランカ		インドネシア		ベトナム		その他		合計	
	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ
人間文化学部	2	215	1	47	0	3	0	1	0	1	0	3	3	270
計	2	215	1	47	0	3	0	1	0	1	0	3	3	270

*受け入れ人数のうち、中国8名及び韓国12名は非正規学生（中期留学生又は交換留学生）である。

- [注] 1 交流協定を締結している海外の大学との状況を中心に、主だった5カ国とその他に分けて記載してください。
 2 学部・大学院研究科ごとに、国別に派遣・受け入れ学生数を記入してください。
 3 2010年5月1日現在で、6カ月以上の期間を要する学生数とします。

10 教員・研究者の国際学術研究交流

(表12)

学部・研究科等		派 遣		受 け 入 れ	
		2009年度		2009年度	
		短 期	長 期	短 期	長 期
人間文化学部	新規	1	0	0	0
	継続	0	0	0	0
計	新規	1	0	0	0
	継続	0	0	0	0

[注] 1 派遣、受け入れとも、1年未満のものを「短期」とし、それ以上を「長期」としてください。

2 各派遣者及び受け入れ者について、派遣及び受け入れが複数年度にわたる場合、初年度については「新規」欄に、次年度以降は「継続」欄に人数を記入してください。

3 旅費・滞在費等の経費負担が私費によるものも含め、全ての派遣者及び受け入れ者について記入してください。

III 学生の受け入れ

1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表13)

		入試の種類	2010年度	
○	○	一般入試	志願者	220
			合格者	218
			入学者(A)	116
			入学定員(B)	120
			A/B*100	96.7
		AO入試	志願者	37
			合格者	36
			入学者(A)	34
			入学定員(B)	50
			A/B*100	68.0
		附属校推薦	志願者	3
			合格者	3
			入学者(A)	3
			入学定員(B)	5
			A/B*100	60.0
		指定校推薦	志願者	57
			合格者	57
			入学者(A)	57
			入学定員(B)	60
			A/B*100	95.0
		公募推薦入試	志願者	13
			合格者	13
			入学者(A)	11
			入学定員(B)	15
			A/B*100	73.3
		社会人入試	志願者	0
			合格者	0
			入学者(A)	0
入学定員(B)	0			
A/B*100	0.0			
留学生入試	志願者	68		
	合格者	51		
	入学者(A)	34		
	入学定員(B)	0		
	A/B*100	0.0		
帰国生徒入試	志願者	0		
	合格者	0		
	入学者(A)	0		
	入学定員(B)	0		
	A/B*100	0.0		
学 科 計	志願者	398		
	合格者	378		
	入学者(A)	255		
	入学定員(B)	250		
	A/B*100	102.0		
学 部 合 計	志願者	398		
	合格者	378		
	入学者(A)	255		
	入学定員(B)	250		
	A/B*100	102.0		
大 学 合 計	志願者	398		
	合格者	378		
	入学者(A)	255		
	入学定員(B)	250		
	A/B*100	102.0		

[注] 1 「編入学試験」は、この表には記入しないでください。

2 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。

3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を（ ）内に記入してください。ただし、相当数の学生（約一割以上）を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

5 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。

6 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。

8 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。

9 各入学（募集）定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数

(表14)

学 部	学 科	入 学 員 定 員	編 入 員 定 員	収容定員		在籍学生数		B/A	D/C	在 籍 学 生 数								備 考
				総 数 (A)	う ち 編 入 学 生 数 (C)	総 数 (B)	う ち 編 入 学 生 数 (D)			第 1 年 次		第 2 年 次		第 3 年 次		第 4 年 次		
										学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	学 生 数	留 年 者 数 (内 数)	
人間文化学部	人間文化学科	250	20	1,040	40	1,016	45	97.7%	112.5%	255	0	239	17	254	17	268	45	
計		250	20	1,040	40	1,016	45	97.7%	112.5%	255	0	239	17	254	17	268	45	
合 計		250	20	1,040	40	1,016	45	97.7%	112.5%	255	0	239	17	254	17	268	45	

- [注] 1 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
 2 収容定員は、定員変更などにより、現在の入学定員の4倍（6年制の学部は6倍）ではない場合がありますので、該当する年度ごとの入学定員、編入定員に注意してください。
 3 現在の在籍学生に関わる入学定員及び編入定員に変更があった場合には、「備考」欄に注記してください。
 4 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。
 5 編入定員を設定している場合は、備考欄にその受け入れ年次を記入してください。
 6 「B/A」及び「D/C」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。
 7 通信教育課程、専攻科、別科等についても学部の表に準じて作成してください。

3 学部の入学者の構成

(表15)

学 部	学 科		入 学 者 数								備 考	
			一般入試	A0入試	附属校 推 薦	指定校 推 薦	公募推薦 入 試	社会人 入 試	留学生 入 試	帰国生徒 入 試		計
人間文化学部	人間文化学科	募集定員	120	50	5	60	15	0	0	0	250	
		入学者数	116	34	3	57	11	0	34	0	255	
		計に対する割合	45.5%	13.3%	1.2%	22.4%	4.3%	0.0%	13.3%	0.0%	100.0%	
合 計		募集定員	120	50	5	60	15	0	0	0	250	
		入学者数	116	34	3	57	11	0	34	0	255	
		計に対する割合	45.5%	13.3%	1.2%	22.4%	4.3%	0.0%	13.3%	0.0%	100.0%	

- [注] 1 入試の種類については、「Ⅲ 1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移」(表13)と同様の区分で作成してください。
- 2 各学科および合計欄の下段には全入学者数に対する入試の種類ごとの割合を記入してください
- 3 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。
- 4 「その他」の入試による内訳を、備考欄に記載してください。
- 5 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 6 各募集定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

4 学部・学科の退学者数

(表17)

学部	学科	2009年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計
人間文化学部	人間文化学科	4	11	9	27	51
計		4	11	9	27	51
合 計		4	11	9	27	51

[注] 1 退学者数には、除籍者も含めてください。

2 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。

5 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数

(表18)

研究科	専攻	入学定員		収容定員		在籍学生数											
		修士課程	博士課程	修士課程(A)	博士課程(B)	修士課程					博士課程						
						一般	社会人	留学生	その他	計(C)	C/A	一般	社会人	留学生	その他	計(D)	D/B
人間文化研究科	臨床心理学専攻	12		24		17	12	0	0	29	120.8						
合計		12		24		17	12	0	0	29	120.8						

- [注] 1 博士課程を前期と後期に区分している場合は、前期課程は修士課程の欄に後期課程は博士課程の欄に記載してください。
また、5年一貫制の博士課程は博士課程の欄に記載してください。
- 2 専門職学位課程については、該当する研究科・専攻名の後に「(専門職)」と付記し、付与する学位の種類に対応する欄に記載してください。
- 3 科目等履修生、聴講生、研究生は、在籍学生数には含めないでください。
- 4 「収容定員に対する在籍学生数比率」(C/A)および(D/B)欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。

7 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表18-3)

研究科名	専攻名		入試の種類		2010年度
人間文化研究科	臨床心理学専攻	修士課程	一般入試	志願者	37
				合格者	16
				入学者(A)	13
				入学定員(B)	12
				A/B*100	108.3%
			その他 (内部特別入試)	志願者	6
				合格者	3
				入学者(A)	2
				入学定員(B)	0
				A/B*100	0.0%
			課程計	志願者	43
				合格者	19
				入学者(A)	15
				入学定員(B)	12
				A/B*100	125.0%
専攻計	志願者	43			
	合格者	19			
	入学者(A)	15			
	入学定員(B)	12			
	A/B*100	125.0%			
研究科合計	志願者	43			
	合格者	19			
	入学者(A)	15			
	入学定員(B)	12			
	A/B*100	125.0%			
大学院合計	志願者	43			
	合格者	19			
	入学者(A)	15			
	入学定員(B)	12			
	A/B*100	125.0%			

[注] 1 博士課程前期(修士)課程、博士課程後期(博士)課程、一貫制、専門職大学院のそれぞれの課程ごとに記入してください。

2 法科大学院については、(表18-4)に記入してください。

3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を()内に記入してください。ただし、相当数の学生(約一割以上)を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。

4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。

IV 教員組織

1-1 全学の教員組織

(表19)

学部・学科、研究科・ 専攻、研究所等		専任教員数										助手	備考
		教授		准教授		講師		助教		計			
		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)			
人間文化学部	人間文化学科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
人間文化学部 計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
人間文化研究科	臨床心理学専攻	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	—	
人間文化研究科 計		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	—	
教職課程		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	—	
心理系		7	0	2	0	1	0	1	0	11	0	0	
情報系（工学）		1	0	2	0	0	0	1	0	4	0	0	
情報系（非工学）		2	0	2	0	0	0	0	0	4	0	0	
言語文化系		8	0	1	0	1	0	1	0	11	0	0	
合計		18	0	7	0	2	0	3	0	30	0	0	
合計		20	0	7	0	2	0	3	0	32	0	0	

- [注] 1 全学の専任教員について、学部、大学院研究科、専門職大学院、研究所等、各所属組織ごとに記載してください。
- 2 専門職大学院については、該当する研究科（または専攻名）の後に「（専門職）」と付記してください。
- 3 教育組織と教員組織が異なる場合は、専任教員が在籍しなくても、まず教育組織を記載し、その後に教員組織を記載し、当該教員組織に専任教員数を記入してください（次ページ記入例参照）。
- 4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、「（その他の組織）」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 5 本表においては、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」についても、専任教員数に含めて記入してください。
- 6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者（教育研究条件等において専任教員と同等の者）のみを「専任教員数」の欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄（左側）に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については記入しないでください。
- 7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複して記入しないでください。

1-2 学部の教員組織

(表19-2)

学部・学科等		専任教員数										助手	設置基準上 必要専任 教員数	専任教員 1人当たりの 在籍学生数	兼 任 教員数	備 考
		教授		准教授		講 師		助教		計						
		特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)					
人間文化学部	人間文化学科	18	0	7	0	2	0	3	0	30	0	0	14	32.8	80	
人間文化学部 計		18	0	7	0	2	0	3	0	30	0	0	(14)			
教職課程		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0				
大学全体の収容定員に応じ 定める専任教員数													14			
合 計		19	0	7	0	2	0	3	0	31	0	0	28		80	

- [注] 1 「専任教員数」については、(表19)のうち、学部教育を担当する専任教員について作表してください。
- 2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等の学部教育を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の学部教育担当組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 3 「専任教員数」欄には、大学院研究科等の専任で、その研究科の基礎となる学部・学科等においても専任として授業を担当している教員数も含めて記入してください。その場合、(表19-3)及び(表19-4)の専任教員が、本表においても専任教員に算入されます。たとえば、大学院研究科に専任教員が配置され、学部教育が専ら研究科の専任教員によって行われている場合がこの典型的な例です。
- 4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学設置基準における必要専任教員数に留意して、学部教育担当専任教員数を適切に記入してください。
- 5 当該学部・学科の専任であっても、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」については、専任教員数には含めないでください。
- 6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。
- 7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複記入しないでください。
- 8 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。併設短期大学からの兼務者も「兼任教員数」の欄に含めてください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「兼任」としている場合もありますが、学外からの兼任者は「兼任教員数」欄に記入してください。
同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は学科ごとではなく学部全体で記述しても結構です。
- 9 「設置基準上必要専任教員数」欄には、大学設置基準別表第一、第二をもとに算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。
- 10 「助手」欄には、大学院研究科等の専任で学部の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。
- 11 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

1-3 大学院研究科の教員組織（専門職大学院を除く）

(表19-3)

研究科・専攻		専任教員数									助手	専任教員のうち		設置基準上必要専任教員数		兼任教員数	備考	
		教授		准教授		講師		助教		計		研究指導教員数	研究指導補助教員数	研究指導教員数	研究指導補助教員数			
		特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)									
人間文化研究科	臨床心理学専攻	7	0	2	0	1	0	1	0	11	0	5(5)	2	2(2)	3	5		
合計		7	0	2	0	1	0	1	0	11	0	5(5)	(2)	2(2)	(3)	5		

() 内は教授の数を内数で示す。

- [注] 1 専任教員については、(表19)のうち、大学院研究科の教育を担当する専任教員について専攻、課程ごとに記入してください。
- 2 専門職大学院については、既存の研究科の1専攻として置かれている場合であっても、次表(表19-4)により別に作表してください。
- 3 「専任教員数」欄には、学部・学科等の専任で、たとえば、その学部・学科等に基礎を置く当該研究科・専攻等においても専任として授業を担当している常勤教員数も含めて記入してください。その場合、前表(19-2)の専任教員が、本表にも専任教員に算入されます。
- 4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学院設置基準等における必要専任教員数に留意して大学院研究科の教育を担当する専任教員数を適切に記入してください。
- 5 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」の欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。
- 6 「研究指導教員」とは、大学院設置基準第9条第1項各号に掲げる資格を有する教員を指し、「研究指導補助教員」とは、研究指導の補助を行い得る教員を指します。
- 7 「研究指導教員数」欄の()には、教授の数を内数で記入してください。
- 8 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を同一の課程に重複して算入しないでください。1人の専任教員を修士課程と博士課程の両課程においてそれぞれ1専攻に限り専任とすることはできますが、どちらか一方の課程において、複数の専攻の専任とすることはできませんので、留意してください。
- 9 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「併任」としている場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。
同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は専攻ごとではなく研究科全体で記入しても結構です。
- 10 「設置基準上必要専任教員数」欄には、「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」(平成11年文部省告示 第175号)により算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。
- 11 「助手」欄には、学部・学科等の専任で大学院研究科の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。
- 12 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

1-5 事務組織

(表19-5)

	部署名	専任職員		常勤嘱託職員	兼務職員	派遣職員	その他	計
			うち管理職					
法人業務系	本部	1	1	0	0	0	0	1
	総務	3	1	1	0	0	0	4
	経理	3	1	0	0	0	0	3
	小計	7	3	1	0	0	0	8
	計	7	3	1	0	0	0	8
大 学 業	事務部	1	1	0	0	0	0	1
	企画・広報	1	0	1	1	0	0	3
	庶務	1	0	1	3	0	0	5
	小計	3	1	2	4	0	0	9
	教務部	0	0	0	0	0	0	0
	教務	2	0	1	3	0	0	6
	小計	2	0	1	3	0	0	6
	学生部	0	0	0	0	0	0	0
	学生	3	0	1	0	0	0	4
	学生相談室	0	0	1	3	0	0	4
	小計	3	0	2	3	0	0	8
	進路支援室	0	0	0	0	0	0	0
	進路支援	2	0	0	2	0	0	4
	小計	2	0	0	2	0	0	4
	入試部	0	0	0	0	0	0	0
	入試	1	0	1	3	0	0	5
	小計	1	0	1	3	0	0	5
	附属図書館	0	0	0	0	0	0	0
	図書館事務室	2	0	2	0	0	0	4
	小計	2	0	2	0	0	0	4

務	チャペルセンター	0	0	0	0	0	0	0
	チャペルセンター事務室	0	0	1	2	0	0	3
系	小 計	0	0	1	2	0	0	3
	エクステンションセンター	0	0	0	0	0	0	0
	エクステンションセンター事務室	1	0	0	0	0	0	1
	小 計	1	0	0	0	0	0	1
	国際交流センター	0	0	0	0	0	0	0
	国際交流センター事務室	1	0	2	2	0	0	5
	小 計	1	0	2	2	0	0	5
	心理臨床センター	0	0	0	0	0	0	0
	心理臨床センター事務室	0	0	0	5	0	0	5
	小 計	0	0	0	5	0	0	5
	大学院	0	0	0	0	0	0	0
	大学院事務室	0	0	0	1	0	0	1
	小 計	0	0	0	1	0	0	1
	計	15	1	11	25	0	0	52
	合 計	22	4	12	25	0	0	60

2 専任教員個別表

人間文化学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	所属学科	授 業 科 目								年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び 学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験・実習 ・実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
教授	ごみ 五味 よしお 夫	男	74	2004. 4. 1	2004. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナール2			2.0	2.0			2.0	2.0	16.0	有	東京学芸大学 大学院教育学 研究科学校教育 専攻臨床心理 学講座修士 課程修了 教育学修士
							臨床心理学	2.0						2.0				
							ココロの科学Ⅱ	2.0					2.0					
							生涯発達論		2.0					2.0				
							カウンセリング演習				2.0			2.0				
							専門ゼミナール			2.0	2.0		2.0	2.0				
							卒業研究			2.0	2.0		2.0	2.0				
							△臨床心理学特論Ⅱ		2.0					2.0				
							△人格心理学特論	1.0					1.0					
							△学校臨床心理学特論		2.0					2.0				
							△臨床心理面接特論			0.7	0.7		0.7	0.7				
							△臨床心理査定演習			0.5	0.5		0.5	0.5				
							△臨床心理事例研究			0.3	0.3		0.3	0.3				
							△修士論文			2.0	2.0		2.0	2.0				
計	5.0	6.0	9.5	11.5	0.0	0.0	14.5	17.5										

教授	やまぐち かつひろ 山口 勝弘	男	68	2007. 4. 1	2007. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナール2		2.0	2.0			2.0	2.0	14.6	有	日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程単位取得満期退学文学修士	
							人間関係論	2.0				2.0						
							教育心理学	2.0				2.0						
							地域支援の心理学		2.0				2.0					
							障害者・児の心理・生理	2.0				2.0						
							専門ゼミナール			2.0	2.0		2.0	2.0				
							卒業研究			2.0	2.0		2.0	2.0				
							△障害者(児)臨床心理学特論	2.0					2.0					
							△臨床心理実習					1.3	1.3	1.3				1.3
							△臨床心理事例研究			0.3	0.3			0.3				0.3
△修士論文			2.0	2.0			2.0	2.0										
計	6.0	4.0	8.3	8.3	1.3	1.3	15.6	13.6										
教授	えはら てるまさ 江原 暉将	男	65	2009. 4. 1	2009. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナール2		2.0	2.0			2.0	2.0	12.0	無	早稲田大学第一理工学部電気通信学科卒業博士(工学、東京工業大学)	
							プログラミングのための数学	2.0				2.0						
							プレゼンテーション演習				2.0			2.0				
							情報セキュリティ		2.0			2.0		2.0				
							情報システム実験演習Ⅰ					2.0		2.0				
							コンピュータシステム	2.0						2.0				
							オペレーティングシステム		2.0					2.0				
							専門ゼミナール			2.0	2.0			2.0				2.0
							卒業研究			2.0	2.0			2.0				2.0
							計	4.0	4.0	6.0	8.0	4.0	0.0	12.0				12.0
教授	もりもと みつひこ 森本 光彦	男	64	2005. 4. 1	2005. 4. 1	人間文化学科	国際関係事情	2.0					2.0		8.0	無	国際基督教大学教養学部社会科学科卒業社会科修士	
							新聞で読む社会情勢	2.0					2.0					
							現代ジャーナリズム		2.0					2.0				
							情報と職業		2.0					2.0				
							専門ゼミナール			2.0	2.0			2.0				2.0
							卒業研究			2.0	2.0			2.0				2.0
							計	4.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	8.0				8.0

教授	ふかつよし 深津容伸	男	63	2005. 4. 1	2005. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナル2			2.0	2.0			2.0	2.0	9.0	無	プリンストン・セロ ジカル・セミナー大 学院修士課程 修了 Th. M. (神学 修士)
							教養演習								2.0			
							キリスト教と文化	2.0	2.0					2.0	2.0			
							ヒューマンケア	2.0						2.0				
							キリスト教と山梨英和	2.0	2.0					2.0	2.0			
							聖書の世界		2.0						2.0			
							計	6.0	6.0	4.0	2.0	0.0	0.0	10.0	8.0			
教授	わたなべ 久壽	男	61	1977. 4. 1	1987. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナル1			2.0	2.0			2.0	2.0	10.0	無	明治大学大学 院文学研究科 日本文学専攻 博士課程単位 取得満期退学 文学修士
							日本古典文学の歴史	2.0							2.0			
							中古文学講読	2.0							2.0			
							言語文化創造Ⅱ		2.0									
							日本語文化特論		2.0						2.0			
							専門ゼミナル			2.0	2.0			2.0	2.0			
							卒業研究			2.0	2.0			2.0	2.0			
							計	4.0	4.0	6.0	6.0	0.0	0.0	10.0	10.0			
教授	かわしま 秀一	男	61	1982. 4. 1	1988. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナル2			2.0	2.0			2.0	2.0	12.0	無	関西学院大学 大学院文学研 究科日本文学 専攻博士課程 単位取得満期 退学 文学修士
							日本語表現法1	2.0										
							言語文化創造Ⅲ	2.0						2.0				
							表現と創作		2.0						2.0			
							近現代文学講読		2.0						2.0			
							子どもと文化	2.0						2.0				
							インターシップ					2.0		2.0				
							専門ゼミナル			2.0	2.0			2.0	2.0			
							卒業研究			2.0	2.0			2.0	2.0			
							計	6.0	4.0	6.0	6.0	2.0	0.0	14.0	10.0			

教授	くぼうち 隼 節 子	女	60	1996. 4. 1	2003. 4. 1	人間文化学科	アカデミックレジャー	4.0						4.0			有	名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理発達科学専攻博士後期課程単位取得満期退学 博士（心理学）
							基礎ゼミナール2			2.0	2.0			2.0	2.0			
							学校臨床心理学	2.0						2.0				
							専門ゼミナール			2.0	2.0			2.0	2.0			
							卒業研究			2.0	2.0			2.0	2.0			
							生徒指導概論		2.0						2.0			
							△発達臨床心理学特論	2.0						2.0				
							△臨床心理面接特論			0.7	0.7			0.7	0.7			
							△臨床心理実習					1.3	1.3	1.3	1.3			
							△臨床心理事例研究			0.3	0.3			0.3	0.3			
							△修士論文			2.0	2.0			2.0	2.0			
計	8.0	2.0	9.0	9.0	1.3	1.3	18.3	12.3	15.3									
教授	わかばやし 若 林 かずみ	女	60	2002. 4. 1	2002. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナール1			2.0	2.0			2.0	2.0	無	立教大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程修了 文学修士	
							生と死の臨床教育	2.0						2.0				
							生涯学習論		2.0						2.0			
							ヒューマンケア		2.0						2.0			
							グリーンワーク	2.0						2.0				
							専門ゼミナール			2.0	2.0			2.0	2.0			
							卒業研究			2.0	2.0			2.0	2.0			
							△生と死の臨床特論	2.0						2.0				
計	6.0	4.0	6.0	6.0	0.0	0.0	12.0	10.0	11.0									

教授	せきの野 陽一	男	57	2006. 4. 1	2006. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナル1			2.0	2.0			2.0	2.0	無	慶應義塾大学 文学部図書館・情報学科 卒業 文学士
							図書館情報論	2.0					2.0				
							ビジネスファイリング		2.0					2.0			
							情報システム実験演習Ⅱ					2.0		2.0			
							キャリアデザイン2	2.0					2.0				
							ITリテラシー演習1			2.0			2.0				
							ITリテラシー演習2				2.0			2.0			
							専門ゼミナル			3.0	2.0			3.0	2.0		
							卒業研究			2.0	2.0			2.0	2.0		
計	4.0	2.0	9.0	8.0	0.0	2.0	13.0	12.0	12.5								
教授	あら 井 直	男	56	1990. 4. 1	2002. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナル2			2.0	2.0			2.0	2.0	無	国際基督教大学大学院比較 文化研究科博士後期課程単 位取得満期退学 文学修士
							Freshman English1			2.0				2.0			
							比較文化・思想論		2.0						2.0		
							外国語(英語1)			2.0				2.0			
							外国語(英語2)				2.0				2.0		
							外国語(ドイツ語1)			2.0				2.0			
							外国語(ドイツ語2)				2.0				2.0		
							専門ゼミナル			2.0	2.0			2.0	2.0		
							卒業研究			2.0	2.0			2.0	2.0		
計	0.0	2.0	12.0	10.0	0.0	0.0	12.0	12.0	12.0								

教授	さいとう しんぺい 斎藤 信平	男	54	1990. 4. 1	2003. 4. 1	人間文化学科	英語コミュニケーション			0.5				0.5	無	成城大学大学院文学研究科 博士後期課程 満期退学 文学修士	
							基礎ゼミナール1			2.0	2.0			2.0			2.0
							英米の思想	2.0					2.0				
							英米の文化		2.0				2.0				
							Tourism English		2.0				2.0				
							English ReadingⅡA			2.0			2.0				
							English ReadingⅡB				1.0		1.0				
							専門ゼミナール			2.0	2.0		2.0	2.0			
							卒業研究			2.0	2.0		2.0	2.0			
							計	2.0	4.0	9.0	6.5	0.0	0.0	11.0	10.5	10.8	
教授	とだ つとむ 田 勉	男	54	1984. 4. 1	1995. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナール1			2.0	2.0			2.0	2.0	無	明治学院大学 大学院文学研究科 英文学専攻 博士後期課程 単位取得満期退学 文学修士
							キャリアデザイン1		2.0						2.0		
							英語コミュニケーション				0.5			0.5			
							英米表現文化論Ⅱ	2.0					2.0				
							英米現代文化と英語	2.0					2.0				
							日英の表現比較	2.0					2.0				
							英米の文学		2.0					2.0			
							専門ゼミナール			2.0	2.0		2.0	2.0			
							卒業研究			2.0	2.0		2.0	2.0			
							計	6.0	4.0	6.0	6.5	0.0	0.0	12.0	10.5	11.3	
教授	こすげ けんいち 小菅 健一	男	50	1994. 4. 1	2004. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナール2			2.0	2.0			2.0	2.0	無	早稲田大学大学院 文学研究科 日本文学専攻 博士後期課程 単位取得満期退学 文学修士
							現代文化入門	2.0	2.0						2.0		
							マンガ文化研究	2.0					2.0				
							日本近代文学の歴史		2.0					2.0			
							メディアの編集工学	2.0					2.0				
							専門ゼミナール			2.0	2.0		2.0	2.0			
							卒業研究			2.0	2.0		2.0	2.0			
							計	6.0	4.0	6.0	6.0	0.0	0.0	12.0	10.0	11.0	

教授	すながのりあき 須永 範明	男	50	1999. 4. 1	2003. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナール1			2.0	2.0			2.0	2.0	無	日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程単位取得満期退学心理学博士
							はじめての統計	1.0					1.0				
							コロナと社会のデータ分析		2.0					2.0			
							コロナの科学 I	2.0					2.0				
							心理学実験演習				4.0			4.0			
							English Reading II			1.0			1.0				
							専門ゼミナール			2.0	2.0		2.0	2.0			
							卒業研究			2.0	2.0		2.0	2.0			
							△社会心理学特論		2.0					2.0			
							△心理統計法特論	2.0					2.0				
							△心理学研究法特論		2.0				2.0				
							△修士論文			2.0	2.0		2.0	2.0			
計	5.0	6.0	9.0	12.0	0.0	0.0	16.0	16.0	16.0								
教授	くろだひろし 黒田 浩司	男	49	2009. 4. 1	2009. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナール1			2.0	2.0			2.0	2.0	有	慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程単位取得満期退学社会学修士
							心理検査演習				4.0			4.0			
							アドバンス心理学研究演習	2.0					2.0				
							キャリアカウンセリング演習			2.0			2.0				
							キャリア心理学	2.0					2.0				
							専門ゼミナール			2.0	2.0		2.0	2.0			
							卒業研究			2.0	2.0		2.0	2.0			
							△臨床心理地域援助特論		2.0					2.0			
							△臨床心理査定演習			0.5	0.5		0.5	0.5			
							△臨床心理事例研究			0.3	0.3		0.3	0.3			
							△修士論文			2.0	2.0		2.0	2.0			
							計	4.0	2.0	10.8	12.8	0.0	0.0	14.8	14.8		

教授	いしだちひろ 石田千尋	女	48	1995. 4. 1	2005. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナル1 日本の文学 言語文化創造 I 上代文学講読 日本文化入門 専門ゼミナル 卒業研究	2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0 2.0	10.0	無	東京大学大学院人文科学研究科国語国文学専攻博士課程単位取得満期退学 文学博士
教授	たくまみや 宅間雅哉	男	46	1993. 4. 1	2005. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナル1 I T English Current English 英語学 英語音声学 専門ゼミナル	2.0 2.0 2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0 2.0	7.5	無	国際基督教大学大学院教育学研究科英語教育法専修博士前期課程修了 教育学修士	
准教授	かわぐち 川口清泰	男	61	1978. 4. 1	2010. 1. 22	人間文化学科	英語コミュニケーション 英米の演劇 翻訳のしかた English Recitation 英米の舞台芸術 専門ゼミナル 卒業研究	2.0 2.0 2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0 2.0	0.5 2.0 2.0 2.0	0.5 2.0 2.0 2.0	8.3	無	明治学院大学大学院文学研究科英文学専攻博士前期課程修了 英文学修士	
准教授	いぐさ 井章清志	男	59	1983. 4. 1	1987. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナル2 開発経済 経済入門 マクロ経済 キャリアデザイン1 卒業研究	2.0 2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0	6.0	無	国際基督教大学大学院行政学研究科修士課程行政学専攻修了 行政学修士	

准教授	よこうち しげり 横内 滋里	女	55	1991. 4. 1	1996. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナル2			2.0	2.0			2.0	2.0	12.5	無	山梨大学教育学部自然科学 科数学科卒業 教育学士	
							ITリテラシー演習1			4.0			4.0						
							ITリテラシー演習2												
							コロナと社会のデータ分析	2.0											
							はじめての統計	1.0						1.0					
							コンピュータと生活	2.0						2.0					
							専門ゼミナル			2.0	2.0			2.0	2.0				
							卒業研究			2.0	2.0			2.0	2.0				
							計	3.0	2.0	10.0	10.0	0.0	0.0	13.0	12.0				
准教授	いしばし やすし 石橋 泰	男	49	2002. 4. 1	2005. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナル2			2.0	2.0			2.0	2.0	15.8	有	東京大学大学院教育学研究 科教育心理学 専攻博士課程 単位取得満期 退学 教育学修士	
							コロナと現代社会	2.0						2.0					
							人格心理学	2.0						2.0					
							深層心理学		2.0										2.0
							トランス心理学研究演習							2.0					2.0
							異常心理学		2.0										2.0
							専門ゼミナル			2.0	2.0				2.0				2.0
							卒業研究			2.0	2.0				2.0				2.0
							△人格心理学特論	1.0							1.0				
							△臨床心理面接特論			0.7	0.7				0.7				0.7
							△臨床心理実習					1.3	1.3		1.3				1.3
							△臨床心理事例研究			0.3	0.3				0.3				0.3
							△修士論文			2.0	2.0				2.0				2.0
			計	5.0	4.0	9.0	11.0	1.3	1.3	15.3	16.3								

准教授	たなか たけお夫 田中 健夫	男	44	2008. 4. 1	2008. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナル2		2.0	2.0			2.0	2.0	15.3	有	京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻修士課程 修了 教育学修士				
							ストレスマネジメント法		2.0					2.0							
							心理療法論		2.0					2.0							
							心理検査演習			4.0			4.0								
							専門ゼミナル		2.0	2.0			2.0	2.0							
							卒業研究		2.0	2.0			2.0	2.0							
							△心理療法特論Ⅱ	2.0					2.0								
							△臨床心理基礎実習				2.0	2.0	2.0	2.0							
							△臨床心理事例研究		0.3	0.3			0.3	0.3							
							△修士論文		2.0	2.0			2.0	2.0							
計		2.0	4.0	12.3	8.3	2.0	2.0	16.3	14.3												
准教授	はん しょう ほん 韓 晧 宏	男	41	2007. 10. 1	2008. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナル1		2.0	2.0			2.0	2.0	11.0	無	桜美林大学大学院国際学 研究科博士後期 課程単位取得 満期退学 学術博士				
							生活の中の中国語		2.0				2.0								
							ビジネス中国語			2.0				2.0							
							経営入門	2.0					2.0								
							貿易入門	2.0					2.0	2.0							
							中国現代事情	2.0					2.0								
							専門ゼミナル		2.0	2.0			2.0	2.0							
							卒業研究		2.0	2.0			2.0	2.0							
							計		2.0	4.0	8.0	8.0	0.0	0.0				10.0	12.0		

准教授	なんばみちひろ 難波道弘	男	35	2002. 4. 1	2009. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナール			2.0	2.0			2.0	2.0	無	岡山県立大学 大学院情報系 工学研究科シ ステム工学専 攻博士後期課 程修了 博士（工学）	
							I T English				1.0			1.0				
							データベース		2.0					2.0				
							システム開発の方法	2.0					2.0					
							アルゴリズム基礎	2.0					2.0					
							アルゴリズム応用	2.0					2.0					
							オペレーションズリサーチ		2.0					2.0				
							情報システム実験演習Ⅱ					2.0		2.0				
							専門ゼミナール			2.0	2.0		2.0	2.0				
							卒業研究			2.0	2.0		2.0	2.0				
計	6.0	4.0	6.0	7.0	0.0	2.0	12.0	13.0	12.5									
専任講師	ダニー ブラウン Danny W. Brown	男	48	1997. 4. 1	2005. 4. 1	人間文化学科	英語コミュニケーション				0.5				0.5	無	テキサス大学大学 院博士課程修 了 Ph. D.	
							American Society&Culture	2.0					2.0					
							English Presentation			2.0			2.0					
							English Bible&Western Culture		2.0					2.0				
							English Speaking I		2.0	2.0			2.0	2.0				
							English Speaking II			2.0				2.0				
							English Reading I			2.0				2.0				
							専門ゼミナール		2.0	2.0			2.0	2.0				
							計	2.0	2.0	6.0	8.5	0.0	0.0	8.0	10.5			9.3

専任講師	もり 森	ち 稚	よ 葉	女	38	2007. 4. 1	2007. 4. 1	人間文化学科	基礎ゼミナール1			2.0	2.0			2.0	2.0	無	お茶の水女子 大学大学院人 間文化研究科 発達社会学専 攻発達臨床心 理学コース博 士前期課程修 了 修士（人文科 学）
									臨床心理フィールド演習			2.0			2.0				
									心理検査演習				4.0		4.0				
									家族心理学	2.0				2.0					
									発達臨床心理学	2.0				2.0					
									専門ゼミナール		2.0	2.0		2.0	2.0				
									卒業研究		2.0	2.0		2.0	2.0				
									△臨床心理査定演習		0.5	0.5		0.5	0.5				
									△臨床心理基礎実習				2.0	2.0	2.0	2.0			
									△臨床心理事例研究		0.3	0.3		0.3	0.3				
計	0.0	4.0	8.8	10.8	2.0	2.0	10.8	16.8	13.8										
助教	い 李	きん 高	じん 珍	女	39	2008. 4. 1	2008. 4. 1	人間文化学科	体験としての異文化理解				2.0		2.0		無	お茶の水女子 大学大学院人 間文化研究科 博士後期課程 修了 人文科学博士	
									日韓文化交流史	2.0				2.0					
									韓国現代事情		2.0				2.0				
									生活の中の韓国語			2.0		2.0					
									ビジネス韓国語			2.0	2.0		2.0				
									専門ゼミナール		2.0	2.0		2.0	2.0				
計	2.0	2.0	4.0	4.0	2.0	0.0	8.0	6.0	7.0										
助教	たかはし 高橋	ひろたか 弘毅	男	33	2010. 4. 1	2010. 4. 1	人間文化学科	ITリテラシー演習1			2.0			2.0		無	新潟大学大学 院自然科学研 究科エネルギー 基礎科学 専攻博士後期 課程修了 博士（理学）		
								ITリテラシー演習2				2.0		2.0					
								情報システム実験演習 I					2.0	2.0					
								ITリテラシー応用演習				2.0		2.0					
								データベース演習					2.0		2.0				
計	0.0	0.0	2.0	4.0	4.0	0.0	6.0	4.0	5.0										

助教	おくむら 奥村	やよい 弥生	女	31	2010. 4. 1	2010. 4. 1	人間文化学科	はじめてのカウンセリング	2.0						2.0		無	九州大学大学院人間環境学 府人間共生シ ステム専攻心 理臨床学コー ス博士課程修 了
								臨床心理フェルト®演習					2.0					
								カウンセリング演習										
								心理学文献講読	2.0									
								心理学研究法	2.0									
								アドバンス心理学研究演習	2.0									
								計	2.0	6.0	2.0	2.0	0.0	0.0	4.0	8.0	6.0	

人間文化研究科

(表20)

職名	ふりがな 氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	所属専攻	授 業 科 目								年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び 学位称号		
							科目名	毎週授業時間数											
								講義		演習		実験・実習 ・実技		計					
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期	
教授	ばば 馬場	れいこ 禮子	女	76	2005. 4. 1	2005. 4. 1	臨床心理学 専攻 (修士 課程)	△臨床心理学特論 I	2.0						2.0		有	慶應義塾大学 大学院社会学 研究科心理学 専攻修士課程 修了 医学博士、文 学修士	
								△投映法特論		2.0						2.0			
								△心理療法特論 I	2.0							2.0			
								△臨床心理査定演習			0.5	0.5			0.5	0.5			
								△臨床心理事例研究			0.3	0.3			0.3	0.3			
								△修士論文			2.0	2.0			2.0	2.0			
								計	4.0	2.0	2.8	2.8	0.0	0.0	6.8	4.8			5.8

教職課程

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	所属学科	授 業 科 目								年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び 学位称号			
							科目名	毎週授業時間数												
								講義		演習		実験・実習 ・実技		計						
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期		
教授	こんどう 近 藤	ひろ 弘	男	65	2010.4.1	2010.4.1	—	教育行政・制度	2.0						2.0		5.0	無	立教大学大学 院文学研究科 教育学専攻修 士課程修了 文学修士	
								教育原理Ⅰ	2.0						2.0					
								教育原理Ⅱ		2.0						2.0				
								総合演習			2.0	2.0			2.0	2.0				
								計	4.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	6.0	4.0				

- [注] 1 「Ⅳ 1 全学の教員組織」(表19)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。ただし、大学附置研究所、学部附属研究所、附属病院等の教員については、授業を担当している教員についてのみ記載してください。
- 2 「科目名」欄に記載する担当科目のうち、大学院研究科の授業科目には△印を付してください。
- 3 「授業科目」欄については、 Semester制の場合を例示していますが、通年制の場合、3学期制の場合等は、適宜、欄を修正して記入してください。
- 4 毎週授業時間数は、時間割編成上のいわゆるコマではなく、時間数に換算して記入してください(例えば1コマ90分の場合は、2時間)。
- 5 1授業科目を複数の教員で担当する場合は、当該授業時数を担当者数で除して毎週授業時間数を算出してください。
- 6 「年間平均毎週授業時間数」欄には、各専任教員ごとの前期と後期の担当授業時間の合計を2で割った年間平均の時間数を記入してください。
- 7 「大学院における研究指導担当資格の有無」欄には、大学が定める基準に基づいて資格の有無を記入してください。

3 専任教員年齢構成

(表21)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計
人間文化学部	教授	1	2	5	4	2	5	0	0	0	0	19
		5.3%	10.5%	26.3%	21.1%	10.5%	26.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	1	1	1	1	2	0	1	0	7
		0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	28.5%	0.0%	14.3%	0.0%	100%
	専任講師	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100%
助教	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	100%	
学部計	(1)	(2)	(6)	(5)	(3)	(7)	(2)	(2)	(3)		31	
	3.2%	6.5%	19.4%	16.1%	9.6%	22.6%	6.5%	6.5%	9.6%	0.0%	100%	
大学合計		1	2	6	5	3	7	2	2	3	0	31
		3.2%	6.5%	19.4%	16.1%	9.6%	22.6%	6.5%	6.5%	9.6%	0.0%	100%
定年 65 歳												

- [注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)のうち、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。
ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全学共通で行っている場合は、その教員数を学部から除き、教養教育担当者の表を学部準じて別個に作成してください。
- 2 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入してください。

3 専任教員の研究費

(表29)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室 等の共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備考
人間文化学部	7,955,032	0	30	265,167	0	
計	7,955,032	0	30	265,167	0	

- [注] 1 2009年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2009年度の人数（助手を除く）を記入してください。
- 2 研究費総額（A）には、学科、研究室等ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。
- 3 研究費総額（B）には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入してください。
- 4 本表における専任教員数は、（表34）と一致します。

4 専任教員の研究旅費

(表30)

学部・研究科等		国外留学		国内留学		学会等出張旅費		備 考
		長期	短期	長期	短期	国外	国内	
人間文化学部	総 額	0	0	0	0	250,000	1,779,130	
	支 給 件 数	0	0	0	0	1	60	
計	総 額	0	0	0	0	250,000	1,779,130	
	支 給 件 数	0	0	0	0	1	60	

[注] 1 2009年度の実績をもとに作表してください。

2 教員研究旅費には、前表「3 専任教員の研究費（実績）」（表29）は含めないでください。

3 それぞれの研究旅費の支給条件（例えば、受給資格、支給額の上限等）を備考欄に注記してください。

4 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とします。

6 教員研究費内訳

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2009年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
人間文化学部	研究費総額	12,324,162	100%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	9,984,162	81%
		学内共同研究費	0	
		その他	0	
	学外	科学研究費補助金	2,340,000	19%
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	0	
		奨学寄附金	0	
		受託研究費	0	
		共同研究費	0	
		その他	0	

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表29)の(A)+(表30)の計、経常研究費、(表31)でいう学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

7 科学研究費の採択状況

(表33)

学部・研究科等	科 学 研 究 費		
	2009年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
人間文化学部	6	2	33%
計	6	2	33%

[注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。

2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。

8 学外からの研究費

(表34)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合 計 (A+B)
		科学研究費補 助金総額 (A)	うちオーバーヘッド の額	その他の学外研究費 総額 (B)	うちオーバーヘッド の額	
人間文化学部	30	23,400,000	540,000	0	0	23,400,000
合 計	30	23,400,000	540,000	0	0	23,400,000

- [注] 1 教員が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。
- 2 2009年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2009年度の人数を記入してください。
- 3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。
- 4 本表における専任教員数は、2009年度の教員数であり、(表29)及び(表30)と一致します。

4 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表

(表40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
人間文化学部	1 ～ 44	7	465	111	23.9	
	45 ～ 60	8		223	48.0	
	61 ～ 160	2		31	6.7	
	161 ～ 330	4		100	21.4	
計		21				
人間文化研究科	1 ～ 44	3	32	26	81.3	
	45 ～ 60	3		6	18.7	
計		6				

[注] 1 原則として学部・研究科ごとに作成してください。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、開設総授業数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業数を示します。なお、使用率は、(使用度数/開設総授業数)により算出してください。例えば、「英語Ⅰ」を、それぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。

3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。

VII 図書・電子媒体

1 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

(表41)

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (種類)	図書受け 入れ状況	備 考
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書			2009年度	
山梨英和大学附属図書館	129,931	105,981	105	8	2,653	3	1,368	受け入れ状況には視聴覚資料を含まない。
計	129,931	105,981	105	8	2,653	3	1,368	

[注] 1 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。

2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。

3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください

4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

2 図書館利用状況

(表42)

図書館の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	年間 開館日数	開館時間	年間利用者数(延べ数)	年間貸出冊数	備 考
					2009年度	2009年度	
山梨英和大学附属図書館	4 (2)	0	230	月～金 9:00 ～ 20:00	87,174人 〔ゲート認証困難なため、一般を含む。〕	7,508冊 〔学生7,088 教職員420〕	
				土 休 館			
				日祭日 休 館			
				長期休暇中 9:00 ～ 17:00			

- [注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを（ ）内に内数で記入してください。
- 2 年間利用者数・貸出冊数には、一般開放による地域住民等の人数や冊数は含めないで、学生及び教職員の利用状況を記入してください。
- 3 「開館時間」に上記以外の時間帯がある場合は、作表してください。
- 4 「年間利用者数(延べ数)」および「年間貸出冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、（ ）内に記入してください。

3 学生閲覧室等

(表43)

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する座 席数の割合(%) $A/B * 100$	その他の学習室の座 席数 ()	備 考
山梨英和大学附属図書館	135	1,064	12.7	()	学部学生1,040、大学院学生24
計	135	1,064	12.7	()	

- [注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えてください。
- 2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入一般開放による地域住民等は含めないでください。
- 3 「備考」欄には学生収容定員（B）の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入してください。

VIII 学生生活

1 奨学金給付・貸与状況

(表44)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数(A)	在籍学生総数(B)	在籍学生数に対する比率 $A/B*100$	支給総額(C)	1件当たり支給額 C/A
山梨英和大学給付奨学金A種	学内	給付	3	954	0.3	1,025,000	341,667
山梨英和大学給付奨学金B種	学内	給付	6	954	0.6	1,050,000	175,000
山梨英和大学特待生奨学金	学内	給付	12	954	1.3	5,130,000	427,500
山梨英和大学貸与奨学金	学内	貸与	2	954	0.2	1,048,000	524,000
プリムローズ会奨学金	学内	給付	6	954	0.6	1,500,000	250,000
赤尾育英奨学会	学外	給付	3	954	0.3	1,440,000	480,000
私費外国人学習奨励費	学外	給付	62	954	6.5	31,968,000	515,613
ロータリー米山奨学会	学外	給付	2	954	0.2	2,400,000	1,200,000
日本学生支援機構奨学金1種	学外	貸与	82	954	8.6	50,724,000	618,585
日本学生支援機構奨学金2種	学外	貸与	145	954	15.2	116,400,000	802,759
山梨英和大学給付奨学金A種	学外	給付	1	30	3.3	300,000	300,000
日本学生支援機構奨学金1種	学外	貸与	2	30	6.7	2,112,000	1,056,000
日本学生支援機構奨学金2種	学外	貸与	1	30	3.3	600,000	600,000

[注] 1 2009年度実績をもとに作表してください。

2 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象の順に作成してください。

3 当該奨学金が学部学生のみを対象とする場合は、「在籍学生総数」欄には学部学生の在籍学生総数を、大学院学生のみを対象とする場合は、大学院の在籍学生総数を記載してください。

4 日本学生支援機構による奨学金も記載してください。

2 学生相談室利用状況

(表45)

施設の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数	備 考
						2009年度	
学生相談室	1	3	5	231	9:00 ~ 17:00	983	全員、臨床心理士 資格を有するカウ ンセラー
いこいのスペース				12	13:00 ~ 16:00	76	グループ活動に参 加した延べ数

[注] 1 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄または欄外に記載してください。

2 年間相談件数は、延べ数を記載してください。

IX 財 務

1-1 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの） ※私立大学のみ

（表46）

	比 率	算 式（*100）	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	55.2	54.8	54.8	56.5	57.6	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	82.6	79.1	80.5	80.8	83.7	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	21.9	23.8	24.2	26.1	26.6	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	5.8	7.0	7.9	7.8	10.2	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	2.8	2.7	2.7	2.6	2.1	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	13.5	6.0	9.1	6.7	3.1	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	86.5	94.0	90.9	93.3	96.9	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	97.1	103.2	103.8	104.2	113.6	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	66.9	69.3	68.1	70.0	68.8	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	2.4	2.4	2.0	1.8	2.3	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	23.9	23.1	24.2	24.1	22.9	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	10.9	8.9	12.4	10.5	14.7	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	10.8	10.9	10.4	10.1	9.6	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（法人全体のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。
 なお、法人として当該大学のみを運営している場合は、本表のみを作表してください。ただし、医・歯学部等で附属病院を併設している場合は、次表（表46-2）も作成してください。

1-2 消費収支計算書関係比率（大学単独のもの） ※私立大学のみ

(表46-2)

	比 率	算 式 (*100)	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	43.9	43.8	44.8	46.7	46.3	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	53.6	52.7	54.4	57.0	56.9	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	25.1	26.8	27.1	28.1	30.2	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	6.2	7.6	9.6	9.2	11.0	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	5.3	4.8	4.9	4.5	3.7	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	19.3	17.0	12.2	11.4	8.7	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	80.8	83.0	87.8	88.6	91.3	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	94.3	97.7	100.6	108.4	112.5	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	81.9	83.2	82.3	81.9	81.4	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	1.6	1.6	1.3	1.1	1.4	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	13.0	12.2	12.8	13.3	11.4	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	14.4	15.0	12.8	18.3	18.8	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	12.4	12.2	10.5	9.4	8.9	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（大学単独のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 貸借対照表関係比率（私立大学のみ）

（表47）

	比 率	算 式（*100）	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	% 89.1	% 88.3	% 89.2	% 89.4	% 89.1	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	10.9	11.7	10.8	10.6	10.9	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	19.6	17.6	15.9	14.3	12.8	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	3.7	4.3	3.8	3.9	4.0	
5	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	76.8	78.1	80.3	81.8	83.3	
6	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	△7.2	△7.7	△8.3	△ 8.9	△ 10.9	
7	固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	116.1	113.1	111.1	109.4	107.0	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	92.5	92.3	92.7	93.1	92.8	
9	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	297.9	270.0	282.3	267.9	273.9	
10	総 負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	23.3	21.9	19.7	18.2	16.3	
11	負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	30.3	28.1	24.6	22.3	20.1	
12	前 受 金 保 有 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	536.6	657.9	637.2	684.8	719.1	
13	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$	50.5	52.8	57.4	59.2	60.8	
14	基 本 金 比 率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	82.5	83.8	85.7	87.3	89.0	
15	減 価 償 却 比 率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	35.7	38.0	38.9	40.9	42.4	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 「総資金」は負債+基本金+消費収支差額を、「自己資金」は基本金+消費収支差額をあらわします。

X 情報公開・説明責任

1 財政公開状況（私立大学のみ）

（表48）

公開の対象者	公開している 財務諸表及び その解説	公開の方法							開示請求があれ ば対応する
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・紙	大学機関誌・紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等)	その他 ()	
教職員	資金収支計算書						○		
	消費収支計算書						○		
	貸借対照表						○		
	財務状況に関する解説								○
	財産目録						○		
	事業報告書						○		
	監事監査報告書						○		
在学生	資金収支計算書						○		
	消費収支計算書						○		
	貸借対照表						○		
	財務状況に関する解説								○
	財産目録						○		
	事業報告書						○		
	監事監査報告書						○		
卒業生	資金収支計算書						○		
	消費収支計算書						○		
	貸借対照表						○		
	財務状況に関する解説								
	財産目録						○		
	事業報告書						○		
	監事監査報告書						○		
保護者	資金収支計算書						○		
	消費収支計算書						○		
	貸借対照表						○		
	財務状況に関する解説								○
	財産目録						○		
	事業報告書						○		
	監事監査報告書						○		

社会・一般 (不特定多数)	資金収支計算書						○		
	消費収支計算書						○		
	貸借対照表						○		
	財務状況に関する解説								
	財産目録						○		
	事業報告書						○		
	監事監査報告書						○		

- [注] 1 2009年度決算について2010年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。
- 2 「公開している財務諸表及びその解説」欄のうち、「財務状況に関する解説」については、事業内容と関連させた財務状況の解説が付されているかについて、該当する「公開方法」欄へ○を付してください。
- 3 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。
- 4 「公開の対象者」および「公開の方法」欄の「その他」には、カッコ内に具体的な名称を記入してください。また、「公開している財務諸表及びその解説」欄の「その他」には、監事監査報告書、財産目録、事業報告書等の具体名を記入してください。
- 5 2009年度決算の公開にあたり変更が予定されている場合には、欄外に注記してください。なお、その場合、公開した時点で該当する資料を提出してください。